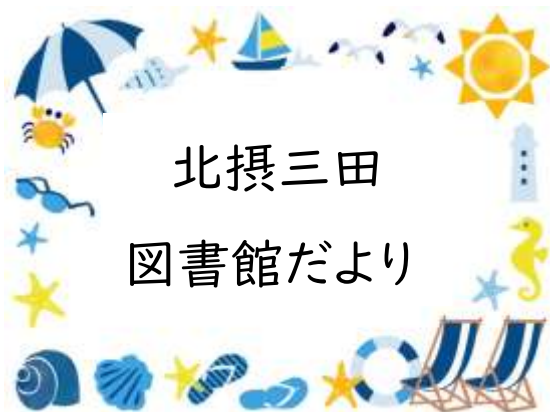




北摂三田 図書館だより



兵庫県立北摂三田高等学校 図書室
令和8年7月 第2号

夏休み目前！夏休みにやりたいこと、挑戦したいことはなんですか？皆さんの充実した夏が、未来の自分につながりますように。

夏季補習期間中は、開館しています。涼しくしてお待ちしています。

図書室からのお知らせ

★夏季休業中の開館および貸出について

貸出期間が延長されます！

7/30(木)までに借りた本は、貸出期間を延長しています。返却日は8/31(月)です。
貸出冊数の変更はありません。

夏季補習期間中は開館します。

前期:7/21(火)～30(木)、後期:8/18(火)～28(金)

開館時間 8:30～16:50 です。(土日は休館します)

*7/30(木)はオープンハイスクール準備のため**12時30分まで**です。

補習の空き時間の利用もお気軽にどうぞ！

★返却日の過ぎた本を持っていませんか？

借りたままになっている本はありませんか？

長期休暇に入りますので、手持ちの本の確認をお願いします。まだ必要であれば、一旦返却の手続きの後、再度、貸出を行いますので、図書室まで持ってきてください。

新着図書案内

★新しく入った本(5～6月)★

No.	書 名	著者名	出版社
1	死ぬということ 医学的に、実務的に、文学的に	黒木登志夫	中央公論社
2	自己決定の落とし穴	石田光規	筑摩書房
3	〈公正〉を乗り越なす	朱喜哲	太郎次郎社エディタス
4	雑草は、なぜ何度も生えてくるのか	稲垣栄洋	ポプラ社
5	飛ぶ男	安部公房	新潮社
6	失われた貌	櫻田智也	新潮社
7	きみはなぜ、学ばないのか？	田村耕太郎	ダイヤモンド社
8	大人のための地学の教室	鎌田浩毅	ダイヤモンド社
9	ストロベリームーン	芥川なお	すばる舎
10	雨の日の心理学	東畑開人	KADOKAWA
11	イラン現代史	黒田賢治	中央公論新社
12	中高生のための人生論ノート	小川仁志	ミネルヴァ書房
13	自治体は何のためにあるのか	今井照	岩波書店
14	それ犯罪かもしれない図鑑	小島洋祐	金の星社
15	18歳からの年金リテラシー入門	佐々木一郎	文眞堂
16	わたしの服はどこからきてどこへいくの？	鎌田安里紗	晶文社
17	「色のふしぎ」と不思議な社会	川端裕人	筑摩書房
18	世界の英語	寺澤盾	中央公論新社
19	時のしずく	中井久夫	みすず書房
20	家族の深淵	中井久夫	みすず書房
21	「昭和」を送る	中井久夫	みすず書房

上記の本は育友会より購入していただきました

□ 読書感想文にいかがですか？ □

読書感想文の本選びは、感想文を書く上でかなり重要です。おもしろい！はもちろん、興味はあるか、共感できることはあるか、誰かに薦めたいと思うかなど、たくさんの視点で見られる本に出あうと、書く材料が揃ってきます。材料が揃えば、いざ！材料を吟味しつつ、自分に向きあって、ぴったりの表現を探せば、できあがりです。読解力、表現力を鍛えましょう！

シリアの家族

小松 由佳 著 集英社

第23回開高健ノンフィクション賞受賞作

いつか必ず、家族のもとへ。

シリアの沙漠で出会った家族と歩んだ 16 年間の記録

アラブ社会において故郷とは、土地そのものではなく、自分が生かされてきた「人間の連なり」を指します。

2011 年、市民による民主化運動から始まったシリア内戦。「今世紀最悪の人道危機」と呼ばれる騒乱の中で、私の夫、および彼の家族もまた、故郷を追われ難民となりました。

ひとくりに「難民」と称される人々にも、一人一人唯一無二の物語があります。本書は、私が彼らとともに歩んだ、16年間の記録です。

YUKA KOMATSU OFFICIAL SITEより

女の子たち風船爆弾をつくる

小林 エリカ 著 文藝春秋

第78回毎日出版文化賞(文学・芸術部門)受賞作

少女たちの知られざる戦争体験

小説家であり、漫画家であり、アーティストでもある小林エリカさんは、目に見えないものの、時間や歴史、家族や記憶、場所の痕跡を着想の源として活動してきました。

『親愛なるキティーたちへ』ではアンネ・フランクの生に寄り添い、『マダム・キュリーと朝食』では震災と放射線をテーマに据えるなど、時にそれは近代社会が蓋をして見ないようにしてきた歪みへの鋭敏な眼差しとなって作品に現れます。そんな著者の到達点とも言えるのが本作です。

春が来る。

桜の花が咲いて散る。

小説のなかで無数に繰り返される、印象的なこのフレーズの数だけ”少女たち”は春を重ね、戦前を戦中を戦後を生きて行きます——風船爆弾の記憶から決して解放されることなく。

この事実を多くの方に知ってほしい、との著者の強い思いから、巻末には膨大な資料も付録しています。

文藝春秋本の話 担当編集者より

読書感想文を書こう!

配布した読書感想文応募要項に目を通しておいってください。

提出は、8/20(木)・21(金)です。(1・2年生は全員提出、3年生は希望者)

読書感想文コンクールのキャッチフレーズがリニューアルされました。「読むこと、書くこと、自分を知ること。」本から何を感じ、学び、どう生かせるか、どう生かすか。自分自身に問いかけてみてください。

☆本を選ぶときのコツ

本選びを軽んじることなかれ!

☞自分の興味のあることや似た体験、好きなこと、ものなど共感できる部分があると、テーマを設定しやすくなり、書きやすくなる。本にテーマのあるものを選ぶのも一考。誰かに伝えたい本、感想を言い合いたくなる本に出あうと良い。

☆読書感想文を書くコツ

題名は大事!!

☞自分の思いが率直に伝わる題名をつける。最初ではなく、最後まで考察。

書き出しのインパクト(つかみをガッチリ!)

☞書き出しが良いと、読み手はどんどん読み進めたい気持ちになる。書き出しがなかなか決まらないときは、箇条書きにしたものを入れ替えながら推敲を重ねる。

テーマが最初から最後までぶれない

☞テーマの設定は大切。それについての自分の意見や感想が最後までぶれない、筋の通った文章にする。

選んだ本は何度も読み返す

☞1度目は内容全体を。2回目以降は、自分の心が動いた箇所にしるしをつけたり、書き出したりしてみる。

自分の感想文を何度も読み返す(音読がおすすめ)

☞自分の感想文を客観的な視点で読むことで、より自分が本から感じた感覚的な伝えたい気持ちや世界観が広がる言葉が見つかる。順番を入れ替えたりしながら、精度をあげていく。

本選びの参考に!

・第72回読書感想文全国コンクール 公式サイト

<https://www.dokusyokansoubun.jp>

課題図書のご案内や読書感想文 Q&A など掲載されています。

・夏休みの本(緑陰図書)|全国学校図書館協議会

<https://www.j-sla.or.jp/recommend/natsuyasumi/>